

《企業紹介》

同社はベトナムの証券会社である。個人や法人向けの証券仲介サービス、資産運用、投資銀行などの総合金融サービスを展開している。2025 年 10—12 月期のホーチミン市場での証券ブローカー業務シェアは 12.5%で 2 位となっており、ベトナムの大手証券会社の一角を占めている。また、法人顧客に欧米の大手商業銀行やベトナムの大手企業が多数あり、国内では高いブランド力を誇っている。なお、日本の大和証券グループが 15%余の株式を保有する筆頭株主となっている。

《2026 年 4—6 月期業績》

2026 年 4—6 月期の営業収入は前年同期比 10.9%増の 3.3 兆 VND（ベトナムドン）だった。前年同期比増減率は 1—3 月期の 47.2%増から大きく減速している。4—6 月期の株式市場の取引高が前年同期比で減少したため、資産関連収入が同 0.3%減の 1.5 兆 VND に減少したことが影響した。また、投資家の動きも緩慢だったため、委託手数料収入の減少によって証券仲介業務関連収入が同 18.3%増の 1.6 兆 VND と伸び悩んだことも影響した。

営業費用は同 20.1%減の 8,922 億 VND に減少した。資産関連収入に対応する費用が金融資産売却損の減少によって同 32.3%減の 4,725 億 VND となったことが貢献した。また、証券仲介業務関連収入に対応する費用も、委託手数料に対応する費用の減少によって同 2.0%減の 3,677 億 VND に減少している。以上の結果、純営業収入は同 29.3%増の 2.4 兆 VND と伸びた。

一般管理費が同 6.8%減の 671 億 VND となったが、金利上昇や借入金の増加によって金融費用が同 36.9%増の 8,307 億 VND に増えたため、営業利益は同 27.6%増の 1.5 兆 VND となり、純営業収入の増加ペースをやや下回った。税前利益は同 27.6%増 1.5 兆 VND、純利益は同 27.0%増の 1.2 兆 VND だった。預金金利の上昇を受けて個人投資家の資金が株式市場から若干流出したとみられ、事業環境は厳しかったが、高水準での利益水準向上を持続できたことは高く評価できるだろう。

図表1 四半期業績の推移(単位 十億VND)

	2025年4—6月期		2025年7—9月期		2025年10—12月期		2026年1—3月期		2026年4—6月期	
		前年同期比 (%)		前年同期比 (%)		前年同期比 (%)		前年同期比 (%)		前年同期比 (%)
営業収入	2,993.0	33.3	4,081.2	106.7	3,601.8	62.1	3,178.1	47.2	3,318.6	10.9
資産関連収入	1,571.8	39.7	2,112.1	100.8	1,768.3	55.4	1,407.4	24.8	1,567.0	-0.3
証券仲介業務関連収入	1,368.6	25.0	1,948.5	115.9	1,765.6	91.0	1,695.6	74.8	1,619.5	18.3
その他	52.7	105.0	20.6	1.5	67.8	-57.4	75.1	22.3	132.2	150.9
営業費用	1,116.8	35.3	1,576.5	155.0	1,750.2	45.2	897.9	43.6	892.2	-20.1
資産関連収入に対応する費用	698.2	61.1	1,040.6	261.8	1,122.6	59.9	474.0	50.0	472.5	-32.3
証券仲介業務関連収入に対応する費用	375.2	-0.6	518.4	65.1	498.0	31.0	387.6	42.4	367.7	-2.0
その他	43.4	207.0	17.4	5.0	129.6	5.4	36.2	-2.0	51.9	19.5
純営業収入	1,876.2	32.1	2,504.8	84.6	1,851.5	82.3	2,280.2	48.6	2,426.4	29.3
一般管理費	71.9	27.3	58.3	8.2	71.8	-22.6	47.6	-10.5	67.1	-6.8
金融費用(マイナスは収入)	606.7	87.9	664.1	81.1	781.0	112.8	636.9	46.3	830.7	36.9
営業利益	1,197.6	15.0	1,782.4	90.4	998.7	79.6	1,595.7	52.6	1,528.7	27.6
税前利益	1,197.8	15.1	1,781.9	90.3	1,003.2	80.8	1,593.4	52.2	1,529.0	27.6
純利益	969.5	16.0	1,433.2	91.1	817.5	91.1	1,277.9	51.4	1,231.1	27.0

注1 営業収入の分類は会社データをもとに当社が独自に行っている。レーディングは各種売買益及び評価益、サービスは委託手数料や証拠金取引の貸付金利息、引受手数料、コンサルタント手数料が含まれる
注2 営業費用の分類は会社データをもとに当社が独自に行っている。レーディングは各種売買損、評価損及び取引コスト、サービスは対応コストや証拠金取引の貸借費用が含まれるが、支払利息は含まれない
出所 会社資料をもとに当社作成

ニュース証券株式会社【関東財務局長(金商)第138号】

加入協会 日本証券業協会 一般社団法人資産運用業協会
主な事業 金融商品取引業

有効期限作成日より 180 日

News20260805

本資料は情報提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。本資料は信頼できる情報源から作成したものです。その正確性を保証するものではありません。統計数値は過去の実績であり将来の成果を保証するものではありません。外国株式は、価格変動リスク、為替変動リスク、カントリーリスク、会計基準変更リスク、流動性リスク、取引相手先リスク(カウンターパーティリスク)、機会損失、その他リスクがあります。ご投資をする際には、上記価格変動及び為替変動により投資元本を下回るおそれがありますので、約款・投資ガイド及び契約締結前交付書面をよくお読みいただき、商品特性やリスク及びお取引ルール等を十分ご理解の上、投資家ご本人様の判断にて行ってください。

サイゴン証券 (SSI)



《株価の推移》

同社の株価と VN 指数を、2025 年 12 月末の終値を 100 としてそれぞれを指数化したものが図表 2 である。同社の株価は概ね VN 指数と連動していたが、4 月中旬以降は下落トレンドが明確になり、アンダーパフォームが顕著になっている。8 月 4 日時点の 2025 年末比変動率は VN 指数の 0.4% 下落となっているのに対し、同社の株価は 18.8% の下落となっている。また、8 月 4 日終値 24,550VND で計算した時価総額は 61.4 兆 VND で、これは 2025 年 12 月期実績の純利益 4.1 兆 VND の 15 倍となっている。

ベトナム株式市場では、2026 年 9 月に FTSE ラッセルによる市場格上げが実際のオペレーションに入る。流動性の改善によって海外投資家のベトナム株式市場に対する関心は高まるだろう。同社はベトナムにおいて大手総合証券としての長い歴史と実績があり、多くの上場企業や機関投資家との繋がりがあある。ベトナム株式市場の高度化によって市場の直接金融機能が強化されるようになれば、間接金融が中心のベトナム金融市場の改革による恩恵を多く享受することが可能だろう。個人投資家主体の株式市場の売買高に依存したビジネスモデルから、投資銀行業務を成長ドライバーとする新たな成長ステージへの移行が期待できる点には留意する必要があるだろう。

図表 2 株価推移



ニュース証券株式会社【関東財務局長(金商)第138号】

加入協会 日本証券業協会 一般社団法人資産運用業協会
主な事業 金融商品取引業

有効期限作成日より 180 日

News20260805

本資料は情報提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。本資料は信頼できる情報源から作成したものです、その正確性を保証するものではありません。統計数値は過去の実績であり将来の成果を保証するものではありません。外国株式は、価格変動リスク、為替変動リスク、カントリーリスク、会計基準変更リスク、流動性リスク、取引相手先リスク(カウンターパーティーリスク)、機会損失、その他リスクがあります。ご投資をする際には、上記価格変動及び為替変動により投資元本を下回るおそれがありますので、約款・投資ガイド及び契約締結前交付書面をよくお読みいただき、商品特性やリスク及びお取引ルール等を十分ご理解の上、投資家ご本人様の判断にて行ってください。